

## 【 10 款 教育費 】

### 1 学校教育

本市の教育分野においては、平戸市総合計画に定める基本目標や平戸市教育方針及び平戸市教育努力目標に基づき、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体」の充実を掲げ、「生きる力」の育成を目指してきたところであり、平成 22 年 6 月には、現在の様々な教育的課題に対応すべく今後 5 年間のアクションプランとして、平戸市教育振興基本計画を策定した。学校教育課においては、『高い志を持つ人づくり』をスローガンに各種施策に取り組んだ。

この中で、「学校教育の充実」を重点目標として掲げたところであり、その一つの柱が、「学力の向上」である。

第 1 に、教師の指導法の改善と指導力の向上を目指し、全ての小・中学校を訪問して指導にあたった。

第 2 に、研究指定による指導を行った。平成 22 年度から 2 カ年、大島中学校が市の研究指定校として、地域に根ざし、生きる力を育む教育の創造を目指して、言語活動の充実を図り豊かな表現力を育成するための実践研究を行った。また、平成 23 年度から 2 カ年、平戸小学校及び津吉小学校を県教育委員会指定及び市教育委員会の研究指定校として、言語活動の充実を図り実践研究を進めている。

第 3 に、学力向上計画の作成と実践を行った。全ての小・中学校で「観点別学力到達度診断テスト」を実施するとともに、平成 19 年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、全校がそれぞれに学力向上プランを作成し、指導法の改善を図り、学力の確実な定着を目指している。

第 4 に、外国語の向上を図る取組を行った。児童生徒が生きた英語に慣れ親しみながら、英語力の向上並びに国際感覚の充実を図るため、外国語指導助手を招致し、全ての小・中学校に指導を行った。

もう一つの柱は、「心の教育」の充実である。

第 1 に、道徳の指導に力を入れることを目標に、校長をはじめ、全職員による道徳教育の充実に努めた。道徳の指導方法の工夫・改善に取り組む一方、保護者や地域に対して道徳の授業を公開した。また、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を活用し、全ての小・中学校の道徳の授業を参観し、指導につなげた。

第 2 に、全ての小・中学校において、日課表の中に読書の時間（「朝の読書」など）を設定し、全校一斉の読書活動に取り組ませた。このことは子どもの情操教育に効果的であり、落ち着いた学習態度の定着など良い結果をもたらしている。

第 3 に、県派遣「スクールカウンセラー」を平戸小学校、平戸中学校、生月中学校、南部中学校及び田平中学校の 5 校に配置を行うとともに、全中学校を対象に「心の教室相談員」が不定期に学校を訪れるほか、各学校においても、悩みを抱える児童生徒のカウンセリングに力を注いだ。また、適応指導教室「のぞみ」の活用を図り、不登校児童生徒の学校復帰に向けての指導を行った。

第 4 に、「特別支援教育」体制の更なる充実に向け、特別支援教育支援員を増員配置するとともに、研修会、講演会を開催し、個に応じた指導体制の基盤づくりを進めた。

また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を受けて、本市においても平成 27 年度までに学校施設の耐震化完了に向けた学校建設計画の見直しを調整しており、情報教育等と併せて、安全で安心な教育環境の整備を図るとともに、学校統廃合に伴う廃校後施設の跡地利活用等について、各地区と検討協議を行っている。

#### (1) 奨学費

平戸市奨学金制度は、品行方正、学業成績が良好でありながら、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与し、教育の機会均等を図り、将来、社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、高校または大学等に修学する生徒・学生を対象に、高校 5 人、高専 1 人、専修 3 人、短大 2 人、大学 2 人の全体で 13 人（平成 23 年度新規貸付者：高校 1 人、高専 1 人、大学 1 人）について、平戸市奨学資金貸付基金運営委員会の審査により決定し、奨学金の貸与を行った。

#### (2) 小学校・中学校費

##### ○学校管理

学校教育の充実を目的として、児童生徒の健康対策及び保護者の負担軽減を図るなど、児童生徒が安心して学習できる教育環境の整備を行った。

施設の営繕等については、プールの濾過装置補修、校舎や体育館の屋根・外壁補修、校舎の防水工事、照

明器具や高圧機器の改修、更には、教室のカーテン・暗幕の取替、黒板張替など施設の維持及びより安全な教育環境の整備を行った。

##### ○教育振興

心の教育の充実及び児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館支援員を全ての小・中学校に配置するとともに、学校図書館管理システムを円滑に運用するなど読書環境の整備を図ることによって、小中学生の年間読書量が大幅に増加した。

就学援助対策として、要保護及び準要保護並びに特別支援学級の児童生徒に対し、援助費及び奨励費の支給や、遠距離通学等をしている児童生徒に対し、補助金の支給を行った。また、適応指導教室「のぞみ」では、不登校児童生徒 7 人に対し、学校復帰を目指した指導を行い、学校行事や卒業式への参加や高校への進学など改善できた生徒がいた。更には、全中学校を対象に心の教室相談員が計画的に訪問し、多くの生徒がかかえる悩みを聞くことができる環境の整備を図った。

##### ○学校建設

学校施設環境の整備については、校舎の増改築や大規模改修、耐震補強、屋内運動場を含む各施設の整備等、年次計画を立て実施しているところであり、本年度は、野子小・中学校校舎大規模改修事業、田平東小学校校舎大規模改修事業、生月小学校校舎耐震改修事業、生月中学校校舎耐震改修事業及び平成 22 年度から継続の田平北小学校校舎増改築事業を実施し、安全で安心な教育環境の整備を図った。

併せて、平戸中学校校舎増改築事業において、校舎建設工事に着手し、平成 24 年度中の完成（グラウンド造成は平成 25 年度完成予定）に向けて実施中である。また、志々伎小学校校舎大規模改修事業において、実施設計を行い、平成 24 年度工事着工の準備が完了した。

更には、田平北小学校に太陽光発電設備を導入し、児童が自然エネルギーや環境問題に関心を持つことができた。

##### ○学校施設の耐震化率の推移 (各年度末)

施設名	平成 22 年度	平成 23 年度
小学校	67.3%	73.1%
中学校	83.3%	96.7%
計	73.2%	81.7%

### 2 幼稚園費

幼児教育の充実と円滑な幼稚園運営を図るため、職員研修の実施、施設の維持補修及び備品の購入を行うなど幼児がのびのびと学べる環境の整備に努めた。

また、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、私立幼稚園の保護者に対し、保育料等を減免する私立幼稚園就園奨励費補助を行った。

### 3 社会教育費

#### (1) 社会教育

平成 19 年 3 月に策定した平戸市生涯学習推進計画に基づき、市民自らの学習意欲を喚起し、学習した成果を生かした協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとして、市民自らが様々な分野から講師を招聘しての生涯学習講演会の開催をはじめ、生涯学習パスポートの表彰・生涯学習月間の啓発、ながさき県民大学主催講座の実施、市民編を前面に出した出前講座の実施等、生涯学習の推進に取り組んだ。

長崎県の県民運動である「ココロねっこ運動」を推進する事業や学社融合事業等を実施し、学校と地域、家庭が一体となって青少年の健全育成に取り組む気運を高め、地域や家庭の教育力の向上を図った。また、少年センターでは、専門員や少年センター補導委員による補導活動や環境浄化活動を実施し、青少年の非行防止、保護育成に取り組んだ。

## 【 10 款 教育費 】

公民館事業については、市内 6 公民館を生涯学習の拠点施設として各種学級・講座等を実施し、市民のニーズや時代に即応した学習の場の提供を行った。また、地域の生涯学習の推進や住民相互の交流を図るうえで必要な地区公民館の修繕補修についても助成を行った。

図書館事業については、利用者ニーズにあった資料の購入、読書感想発表大会や読み聞かせ等の読書推進事業、各種講座開催など読書に親しむ機会の提供を行った。また、公民館図書室の整備に伴い、今まで生月町中央公民館にあった生月図書室を生月支所に移設し、改修を行い、明るく利用しやすい図書室としてリニューアルオープンした。また、図書館フェスティバルや絵本作家講演会を開催し、読書環境の改善を図った。

### (2) 文化財保護

文化財保護について、平成 23 年 9 月 16 日付で「松浦文書」「石志文書」「伊万里文書」「相知文書」「吉村組捕鯨文書」の 5 件が県の有形文化財に指定された。それに伴って、松浦文書に含まれる「豊田秀吉キリシタン禁制定書」1 通が指定解除された。また、平成 23 年 9 月 21 日に「棲霞園」が国の名勝地に登録された。

指定・選定文化財について、大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区の町家 4 件の修理補助及び公開活用施設の修理、県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」座敷の改修、県指定有形文化財「紐差教会」の自動火災報知設備設置、同「旧松浦家住宅」と「雄香寺開山堂」の補修等の補助、県指定天然記念物「海寺跡のハクモクレン」の保存整備事業を行い、貴重な文化財の保存・保護・継承・活用に努めた。

平戸和蘭商館については、史跡地内公有地にて文化財に相応しい整備を実施し、来館者が平戸港周辺を周遊できるよう動線を設定した。また、長さに渡る復元検討の未完成した 1639 年築造倉庫が 9 月 20 日に開館することに併せて記念式典を開催し、秋篠宮同妃両殿下のお成りをはじめ多くの来賓に出席いただくことができ、開館を広く内外にアピールすることができた。

重要文化的景観については、適切な保存活用を図っていくため、整備活用計画の策定検討を行った。また、選定区域内の便益施設整備として休憩施設 2 棟を設置した。

世界遺産登録推進について、県版アクションプラン、包括的保存管理計画の一部となる市アクションプランの策定や、関係地域における継続した調査研究を行い、登録作業の推進を図った。

### (3) 文化振興・文化施設

文化振興について、市美術展、文化協会加盟団体による文化まつりを実施し、文化活動団体への活動補助、全国大会出場者への補助を行うなど、市民の文化に対する意識の高揚と、芸術文化の振興に努めた。

また、宝くじまちの音楽会を平戸文化センター、次代を担う子どもの文化芸術体験事業を津吉小学校、平戸オランダ商館開館記念コンサート、ながさき音楽祭 2011「木管アンサンブル・ポエ」コンサートをオランダ商館・島の館、海上自衛隊佐世保音楽隊コンサートを平戸文化センターで開催し、質の高い芸術を鑑賞する機会を提供することできた。

文化施設について、大島村ふるさと資料館、田平町里田原歴史民俗資料館、生月町博物館・島の館の施設の維持管理・運営・公開を行い、郷土の歴史や地域文化の紹介と情報発信、文化財の保存保護に対する周知と啓発を行った。また、緊急経済対策を活用して、田助ハイヤ節伝承館、生月町博物館・島の館、田平町里田原歴史民俗資料館の改修等を行い、施設の維持補修並びに利用者の利便性向上に努めた。

## 4 保健体育費

### (1) 保健体育・体育施設

スポーツ振興においては、体育協会を中心としてスポーツ団体の育成と競技力の向上を図ることができた。また、スポーツ振興基金を活用して、個人・団体等の九州大会以上の大会への参加補助やスポーツ教室等の開催に助成を行った。各地区の体育振興会を中心に、健康まつりや村民運動会などを開催し、市民の融和と社会体育の底辺拡大、市民の健康増進を図るため、生涯スポーツの推進に努めた。

スポーツイベントとして、「第 5 回ひらどツデーウォーク 2011」を開催し、市内外から多くの参加者が訪れ、健康増進とともに、観光地平戸を大きく P R し、地域の活性化に貢献することができた。

青少年の健全育成を目的としたスポーツ振興については、スポーツ少年団体の活動に支援を行った。

社会体育施設である総合運動公園及びシーライフひらどについては、平成 18 年 9 月から指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化とサービスの向上を図っている。今回、平成 24 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 4 年間における指定管理者の指定を行った。また、平成 26 年度長崎がんばらば国体に向けて、軟式野球競技の会場となる平戸市総合運動公園ライフカントリー赤坂野球場と生月町勤労者体育センターの施設改修を行うことによってスムーズな競技運営が図られるようになった。そのほか各体育施設改修等を行うことにより、利用者の安全確保やサービスの向上を図った。

第 69 回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業については、7 月 20 日に平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会を開催し、その後、常任委員会及び 4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査（岐阜・山口）を行うことにより具体的な内容の把握が出来、今後の業務遂行に大いに参考となった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、イベントでのティッシュ配布により啓発活動に努めた。また、関係機関団体等との連絡調整を図り大会開催へ万全を期すため準備を行った。

全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業については、7 月 20 日に平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会を開催し、その後、4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査（青森県弘前市）を行うことにより具体的な施設面・競技運営面等、今後の業務遂行に参考となるものであった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、また、ポスター募集を行い啓発活動に努めた。関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の視察研修を行い大会開催への準備を行った。

全国高等学校総合体育大会相模競技選手強化育成事業については、年間を通して遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手強化が図られた。

### (2) 学校給食

安全安心でおいしい給食を児童生徒に提供するため、調理講習会や衛生管理研修会を実施し調理従事者等の資質の向上を図った。

一方、設備面では 20 年以上使用し老朽化して故障が頻発していた中南部共同調理場の食缶類洗浄機を更新したほか、北部、中南部給食調理場の老朽化した真空冷却機の更新や、大島及び度島調理場への新たな真空冷却機の整備を行い、学校給食衛生管理基準の遵守を図るとともに、スチームオープン等の最新鋭の調理機器及び作業機器の整備を行った。

また、中南部地区の学校統廃合で減車となった給食配送車 1 台を、老朽化した大島共同調理場の配送車と入れ替えたほか、田平共同調理場の老朽化した配送車の更新整備を図った。

事業名	事業内容	事業費
離島留学生ホームステイ支援事業 (教育総務課) 【事項別明細書 294 頁】	地域活力の高揚及び学校教育の振興を図るために、猶興館高校大島分校に島外からの高校生の受け入れを行うとともに受入家庭に対して助成を行った。 対象 高校 3 年生 3 人 ※平成 24 年 3 月 31 日閉校	1,080
特別支援教育総合推進事業 (学校教育課) 【事項別明細書 294 頁】 【事項別明細書 296 頁】	発達障害を含む障害のある子どもの保護者への相談体制の充実を図るとともに、当該児童生徒の乳幼児から成人期に至るまでの一貫した支援方策について検討し、早期からの就学相談や小学校から高等学校への支援体制の引継ぎについて整備を行った。 就学相談等の回数 96 回 (延べ人数 61 人) 委員会の開催 運営委員会 2 回 幼保小連携専門委員会 2 回 中高連携専門委員会 2 回	1,794
奨学資金貸付事業 (教育総務課) 【事項別明細書 298 頁】	経済的理由により修学困難と認められる品行方正、学業成績が良好である者に教育の機会均等を図り、将来の社会発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的に学資を貸与した。 平戸市奨学資金貸付基金 平成 23 年度貸付状況 13 人 3,384 千円	232
スクールバス・ボート運行事業 (教育総務課) 【事項別明細書 300 頁】	学校統廃合等による児童生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスの運行またはスクールボートの運航を行った。 バス 中野小～古江、大瀬地区 20 人 中野小～主師、山野、白石地区 11 人 紐差小～獅子、高越、春日地区 15 人 紐差小～宝亀地区 20 人 紐差小～大川原、赤松、木ヶ津 4 地区 17 人 津吉小～早福地区 19 人 大島小・中～板ノ浦地区 4 人 ボート 宮の浦港～高島港 4 人 乗船延べ人数 児童 1,294 人 一般 324 人	21,173
学校等施設整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 310 頁】 【事項別明細書 318 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 児童生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、各学校の老朽化等による危険箇所及び学校生活に支障をきたしている施設の改修を行った。 廊下床張替 (1) 小学校 (8 校) 10,489 千円 (2) 中学校 (4 校) 4,228 千円 (3) 幼稚園 (1 園) 294 千円 南部中学校屋外便所建設 1,838 千円	16,849

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
540			540	この事業を行ったことで、受入家庭の負担軽減のほか、地域活力の高揚及び島内の学校教育の振興が図られた。
1,786		7	1	この事業を行ったことで、きめ細かな就学相談や支援体制の整備が進み、本人や保護者の教育に対する不安が軽減できた。さらに、支援体制の適切な引継ぎにより、当該児童生徒の生活や学習上の困難を改善又は克服することができた。
		20	212	この事業を行ったことで、修学困難とされる者に修学を促し、教育の機会均等を図ることができた。
	18,500	214	2,459	この事業を行ったことで、学校統廃合となった地区または公共交通機関が乏しい地域の児童生徒の安全な通学の確保ができた。 また、通学以外で市内各小中学校の学習活動(水泳指導、社会科見学等)等への有効活用が図られた。
11,659			5,190	この事業を行ったことで、廊下での防滑、転倒防止等及びプライバシーの保護等学校施設での安全性の確保及び教育環境の改善が図られた。

事業名	事業内容	事業費
学校統廃合事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 児童数の減少等により学校統廃合を行ったことに伴い、当該地域等にスクールバスを運行させているが、当該スクールバスを効果的に管理するための車庫を建設するとともに、当該地域から要望があつて耐震性の無い校舎部分の解体等の環境整備を行った。</p> <p>スクールバス車庫建設 (紐差小：123.66 m<sup>2</sup>) 16,523 千円 (津吉小：39.32 m<sup>2</sup>) 5,119 千円 校舎解体等 (旧獅子小) 16,284 千円 (旧宝亀小) 20,254 千円 その他 (遊具撤去等) 1,970 千円</p>	60,150
就学対策事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 310 頁】	<p>就学困難な児童生徒の保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な実施等を図るため、就学のために必要な学校用品等の整備及び支援等を行った。</p> <p>【負担金補助及び交付金】 4,263 千円 遠距離等児童・生徒通学費補助金 3,700 千円 遠距離等の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校(4km以上) 28人 480 千円 (2) 中学校(6km以上) 79人 3,111 千円 (3) 特別支援教室等通級費 16人 109 千円 児童・生徒通学費助成金 563 千円 学校統廃合の条件として、生月町御崎地区及び古賀江地区の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 7人 234 千円 (2) 中学校 6人 329 千円 【扶助費】 17,838 千円 要準要保護児童生徒援助費 14,218 千円 要保護及び準要保護児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 116人 1,889 千円 給食 114人 4,423 千円 医療 23人 168 千円 (2) 中学校 就学 95人 3,545 千円 給食 93人 4,109 千円 医療 9人 84 千円 特別支援学級就学奨励費 3,621 千円 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 22人 338 千円 給食 22人 924 千円 通学 8人 180 千円 (2) 中学校 就学 14人 527 千円 給食 14人 700 千円 通学 12人 952 千円</p>	33,411

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
27,971	21,200		10,979	この事業を行ったことで、スクールバスを効果的に管理できるとともに、廃校後敷地の安全性の確保ができた。
903			32,508	この事業を行ったことで、児童生徒の就学環境の改善とともに、保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な実施が図られた。

事業名	事業内容	事業費
図書教育充実事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 310 頁】	心の教育の充実のために、図書を購入整備し、学校図書館を充実させ、児童生徒の読書活動を推進した。	9,411
学校図書館支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 310 頁】	市内小中学校図書館の活性化を図るため、学校図書館支援員を配置し、学校図書館の様々な取組みを支援した。  小学校 2人 拠点校：中野小 支援校：田助小、大島小、中野中、大島中 拠点校：志々伎小 支援校：根獅子小、堤小、中津良小、野子小中  中学校 2人 拠点校：田平中 支援校：田平北小、田平南小、田平東小、度島小中 拠点校：生月中 支援校：生月小、山田小、紐差小、中部中	1,731
学校図書館管理システム円滑化推進事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 312 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 平成 22 年 4 月から本格稼働している学校図書管理システムの円滑な運用を図るため、各学校間または公立図書館との連携調整事務及び図書台帳の整備(加除・修正)や図書(新規購入分・学校統廃合分)の登録作業を行った。	8,557
小学校指導書等購入事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】	新学習指導要領改訂に伴う教師用指導書及び教科書の購入を行った。	18,632
平戸子ども読本編纂事業 (学校教育課) 【事項別明細書 304 頁】	郷土の歴史、伝統文化等への理解を深め、夢やあこがれ、ふるさと平戸への思いを膨らませるために児童向けの副読本「平戸子ども読本『平戸あこがれ物語～心に残る人物伝』」を作成し、小学校 1～3 年の教室に配置し、授業等で活用した。	354
特別支援教育支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 304 頁】 【事項別明細書 314 頁】 【事項別明細書 316 頁】	心身に障害を持つ児童生徒が、健常者と平等に楽しく学習が受けられる環境整備を図るため、特別支援教育支援員を配置し、個々の障害に応じた適切な教育にかかる側面からの支援を行った。  小学校 13人 (支援対象児童 101人) 中学校 3人 (支援対象生徒 27人)	14,663

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
	7,100		2,311	この事業を行ったことで、児童生徒の読書量が増え、休日でも学校図書を借りて帰ることも多くなり、読書が定着、活発化してきている。												
855		10	866	この事業を行ったことで、学校図書館環境が格段に良くなり、児童生徒が図書館を積極的に活用するようになった。  ○児童生徒 1 人あたりの貸出冊数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 22 年度</th> <th>平成 23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>125.4 冊</td> <td>148.4 冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>12.8 冊</td> <td>14.7 冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>83.4 冊</td> <td>100.2 冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成 22 年度	平成 23 年度	小学校	125.4 冊	148.4 冊	中学校	12.8 冊	14.7 冊	計	83.4 冊	100.2 冊
	平成 22 年度	平成 23 年度														
小学校	125.4 冊	148.4 冊														
中学校	12.8 冊	14.7 冊														
計	83.4 冊	100.2 冊														
8,534		23		この事業を行ったことで、児童生徒への効率的効果的な読書指導の実施と学校図書館の環境整備を図ることができた。  新規雇用失業者数 10 名												
			18,632	この事業を行ったことで、新しい教科書に対応した児童への指導が図られ、個々の児童に確かな学力を身につけさせることができた。												
			354	この事業を行ったことで、郷土の歴史、伝統文化等への理解を深め、授業以外でも興味を示し、貸し出しも行っている。												
	13,400	93	1,170	この事業を行ったことで、児童生徒は、心のふれあいや協調性などを学び、心身に障害を持つ児童生徒と健常者が平等に学習できる環境整備が図られた。												

事業名	事業内容	事業費
田平北小学校校舎増改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 306 頁】	児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、老朽化等により授業に支障をきたしている校舎について、改築工事を行った。 平成 21 年度 耐力度調査、地質調査、実施設計 平成 22 年度 A棟解体、仮設校舎設置(リース)、本校舎建設工事 平成 23 年度 仮設校舎設置(リース)、本校舎建設工事、B棟解体及び屋外階段・トイレ建設工事、構内外構舗装工事 <b>【仮設校舎設置】</b> 軽量鉄骨造 1 階建 延べ床面積 299 m <sup>2</sup> 校長室、職員室、保健室、普通教室、トイレ、給食コンテナ室 <b>【本校舎建設工事】</b> 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 1,886 m <sup>2</sup> 太陽光発電設備(17.6kw)、雨水利用設備等 <b>【B棟解体及び屋外階段・トイレ設置工事】</b> B棟解体 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 416 m <sup>2</sup> 屋外階段・トイレ鉄筋コンクリート造 1 階建 延べ床面積 10 m <sup>2</sup> <b>【構内外構舗装工事】</b> 舗装工事 1,010 m <sup>2</sup> 砕石敷均 600 m <sup>2</sup> 事業費 322,703 千円	322,703
【事項別明細書 308 頁】	<b>【平成 22 年度繰越明許費】</b> <b>【本校舎建設工事】</b> 事業費 114,897 千円	114,897
野子小学校校舎大規模改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 306 頁】	児童生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 40 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改築工事を行った。 平成 20 年度 耐震診断 平成 21 年度 耐震補強設計 平成 23 年度 耐震補強及び大規模改築工事 <b>【耐震補強工事】</b> 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,905 m <sup>2</sup> 補強箇所 9 箇所 補強に伴う外壁塗装及びアルミサッシ改修 <b>【大規模改築工事】</b> 校舎内部(廊下の天井及び床、建具類)、電気設備及び機械設備の改修工事等	42,479
野子中学校校舎大規模改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 316 頁】		30,406

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
123,391	181,500		17,812	この事業を行ったことで、児童の安全安心な教育環境の整備が図られるとともに、児童が自然エネルギーや環境問題に関心をもつ等、学習意欲の向上につながった。
52,398	59,300		3,199	
20,414	20,900		1,165	この事業を行ったことで、児童の安全性の確保及び教育環境の整備が図られた。
14,621	14,900		885	

事業名	事業内容	事業費
志々伎小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書306頁】	児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後34年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を実施するための設計を行った。 平成21年度 耐震診断 平成23年度 大規模改造設計、耐震補強及び大規模改造工事 (工事は平成24年度に繰越) 【大規模改造設計】 鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積 1,599㎡ 校舎内部(天井、床、建具類)、校舎外部(屋上防水、外壁塗装)電気設備及び機械設備の改修工事に係る実施設計	2,562
田平東小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書306頁】	【平成22年度繰越明許費】 児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、建築後43年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を行った。 平成21年度 耐震診断(耐震性有) 平成22年度 大規模改造設計 平成23年度 大規模改造工事 【大規模改造工事】 鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積 1,250㎡ 校舎内部(天井、床、建具類)、校舎外部(屋上防水、外壁塗装)電気設備及び機械設備の改修工事等	136,293
生月小学校校舎耐震改修事業 (教育総務課) 【事項別明細書308頁】	【平成22年度繰越明許費】 児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を行った。 平成20年度 耐震診断 平成21年度 耐震補強設計 平成22年度 耐震補強工事 平成23年度 耐震補強工事 【耐震補強工事】 鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積3,414㎡ 補強箇所18箇所 補強に伴う外壁塗装及びアルミサッシ改修	69,614
子ども議会開催事業 (学校教育課) 【事項別明細書312頁】	中学生(市内9校×2人)を「子ども議員」として、市議会を疑似体験する場を設定し、中学生の視点から将来の平戸市に思いを巡らせ、「魅力ある平戸市」を創るための提言を行った。 市は、この提言を検証し、これからの施策への反映を検討した。	111

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,400		1,162	本年度は、耐震補強及び大規模改造工事(平成24年度繰越)に先立ち、実施設計を行った。
43,237	88,300		4,756	この事業を行ったことで、児童の安全性の確保及び教育環境の整備が図られた。
40,294	27,800		1,520	この事業を行ったことで、児童の安全性の確保及び教育環境の整備が図られた。
			111	この事業を行ったことで、生徒は身近な問題から平戸市全体の問題まで、故郷平戸市を見直すことができ、また、提案された内容をいくつか市の施策に反映させた。

事業名	事業内容	事業費
平戸市算数・数学 検定事業 (学校教育課) 【事項別明細書 312 頁】	検定の合格を目指し学力の向上及び家庭と連携し継続的に取り組むことで家庭学習の習慣化を図るため、平戸市中学校教育研究会を中心に検定を行った。 また、保護者への呼びかけを通して親子で計算に親しむ環境をつくった。  年2回開催	106
情報教育環境整備 事業 (教育総務課) 【事項別明細書 312 頁】	児童生徒の情報化時代に対応できる能力を養うと共に、効果的効率的な教育の推進を図るため、児童生徒及び教職員等用のパソコンの整備を行った。  児童生徒用 46 台 (入替) 平戸中 37 台、野子小中 9 台 学校事務職員用 27 台 (入替) 緊急時対応用 7 台 (導入)	5,480
外国語指導助手 招致事業 (学校教育課) 【事項別明細書 312 頁】 【事項別明細書 314 頁】	児童生徒が生きた英語に慣れ親しみながら、英語力の向上並びに国際感覚の充実を図るため、外国語指導助手を招致し、全小中学校に指導を行った。  ALT (Assistant Language Teacher) 5 人 国籍：オーストラリア 5 人	24,062
適応指導教室運 営事業 (学校教育課) 【事項別明細書 314 頁】	不登校児童生徒の学校復帰及び学校行事への参加促進並びに学習の援助を図るため、適応指導教室を設置した。併せて、指導員を配置し、通級者へ個別の指導や家庭訪問を行った。  平成 23 年度 中学 3 年生 6 人 中学 2 年生 1 人	3,185
心の教室運営事 業 (学校教育課) 【事項別明細書 316 頁】	心の問題、不登校問題等の発生を未然に防ぎ、心にゆとりを持てるような環境整備を図るため、全中学校を対象に不定期に相談員が訪れ、生徒の悩み、不安、ストレスに対し、気軽にカウンセリングを行った。  相談件数 98 件	1,270

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			106	この事業を行ったことで、生徒の関心も高まり、学力の向上及び家庭学習の習慣化が図られた。
			5,480	この事業を行ったことで、児童生徒の情報化時代に対応できる能力の養成と効果的効率的な教育の推進が図られた。
	8,200	110	15,752	この事業を行ったことで、児童生徒一人ひとりが意欲を持って学習に参加できており、英語力の向上並びに国際感覚の充実が図られた。
		1,581	1,604	この事業を行ったことで、子どもたちの心のよりどころとして、効果的な学習指導及び精神的ケアが十分に機能し、中学 3 年生が卒業式に参加し、高校入試を受験、進学することができた。
			1,270	心この事業を行ったことで、の問題、不登校問題等の発生を未然に防ぐことができた。

事業名	事業内容	事業費
平戸中学校校舎増改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 316 頁】	生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、老朽化等により授業に支障をきたしている校舎について、5カ年計画の増改築事業を策定し、改築工事を着工している。 平成 21 年度 耐力度調査 平成 22 年度 地質調査、実施設計、プール解体工事 平成 23 年度 プール解体工事、本校舎建設工事 (建設工事の一部は平成 24 年度に繰越) 平成 24 年度 本校舎建設工事、既存校舎解体工事、グラウンド整備工事 平成 25 年度 グラウンド整備工事 【本校舎建設工事】 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 3,930 m <sup>2</sup> 事業費 115,632 千円	115,632
	【平成 22 年度繰越明許費】 【プール解体工事】 事業費 6,390 千円	6,390
生月中学校校舎耐震改修事業 (教育総務課) 【事項別明細書 316 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を行った。 平成 20 年度 耐震診断 平成 21 年度 耐震補強設計 平成 23 年度 耐震補強工事 【耐震補強工事】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 4,636 m <sup>2</sup> 補強箇所 45 箇所 補強に伴う外壁塗装及びアルミサッシ改修	151,972
幼稚園就園奨励事業 (学校教育課) 【事項別明細書 318 頁】	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減を図るため、私立幼稚園の保育料等を減額又は免除し、公立幼稚園との保護者負担の格差是正を行った。 私立幼稚園就園奨励費補助金 4 園 (56 人) 5,987 千円	6,827

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
54,461	58,200		2,971	本年度は、平成 22 年度から繰り越しのプール解体工事の実施及び本校舎建設工事に着工しており、工期については、平成 23 年 11 月 15 日より平成 24 年 11 月 30 日竣工予定である。
	6,000		390	
76,023	72,100		3,849	この事業を行ったことで、生徒の安全性の確保及び教育環境の整備が図られた。
1,429			5,398	この事業を行ったことで、私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減が図られた。

事業名	事業内容	事業費
生涯学習推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 320 頁】	<p>行政と市民の協働によるまちづくりを推進するため、市民自らが企画・立案・運営まで一貫して行う公募型の生涯学習講演会を開催したほか、生涯学習指導ボランティア育成講座ではパソコン指導者養成講座を開催し、ボランティアを育成するなど、まちづくりに向けた市民参加のための学習を推進した。</p> <p>また、生涯学習だより「まなぶ君」を情報提供と啓発の場とするとともに、まちづくり出前講座における市民編のPRや生涯学習パスポート制度、生涯学習まちづくり表彰などを通じて市民の生涯学習を評価し、その成果を生かす機会を拡充した。</p> <p>生涯学習講演会 2回 出前講座 479回 生涯学習指導ボランティア養成講座 1回 生涯学習だよりまなぶ君発行 4回 生涯学習推進会議 2回 生涯学習視察研修 1回</p>	2,284
少年の主張大会 開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	<p>平戸市内の全小中学校から 26 名の児童・生徒が参加した。</p> <p>開催日：平成 23 年 6 月 18 日（土） 場 所：平戸文化センター 来場者：約 350 名</p>	136
青少年健全育成 事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	<p>明日を担う青少年を、心身ともに健全でたくましく育てるため、各地域の青少年健全育成活動に助成を行った。</p> <p>平戸地区（12 校区） 911 千円 田平地区 300 千円 生月地区 500 千円 大島地区 120 千円</p>	1,864
自治公民館整備 事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】 【事項別明細書 326 頁】	<p>地域の生涯学習の拠点施設である地区公民館の整備を図るとともに、自治活動やコミュニティの醸成を図るため、地区公民館の改修、補修の補助を行った。</p> <p>地区公民館改修等 平戸地区 明の川内 137 千円 山野白石 2,250 千円 紐差第 2 940 千円 迎紐差 2,009 千円 木場 701 千円 田崎 2,099 千円 宝亀第 3 2,801 千円 野子 632 千円 田平地区 釜田 1,250 千円 福崎 150 千円</p>	12,969

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			2,284	<p>市民自らが学習の機会を作り、活動し、成果を活用する生涯学習のまちづくりに向けて、さまざまな企画が進み、市民の学習意欲の喚起につなげることができた。特に出前講座市民編が回数と参加者が増え認知されつつある状況である。また、生涯学習だより「まなぶ君」によって生涯学習活動全般や、拠点となる各公民館の情報を全市的に発信することができた。</p> <p>参加者数 H23 H22 生涯学習講演会 470人 410人 出前講座 17,885人 20,667人 (うち市民編 1,155人 980人)</p>
			136	<p>社会問題や家庭での出来事などに対し、自分の思いや自分が果たすべき役割を堂々と主張し、来場者に感銘を与えた。また、社会や地域の問題に接し、問題解決を考えることで、自らも社会の一員であることを自覚し、社会に対する意識の向上や健全な心を育んだ。</p>
			1,864	<p>本事業を通して、家庭・学校・地域が連携し、青少年の健全育成や社会環境の浄化、非行防止などに努めるとともに、家庭や地域の教育力の向上を図ることができた。</p>
		3,205	9,764	<p>地域住民のコミュニティの促進や生涯学習活動を推進するための環境が整った。</p>

事業名	事業内容	事業費																																		
公民館講座開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 326頁】	<p>①公民館講座開催事業 2,214千円</p> <p>学習の場を市民に提供するため、各公民館において、女性、高齢者、成人、青年、少年等を対象に、各種事業講座、教室を開催した。また、スポーツ面においては、地域間の親睦と健康増進やスポーツの普及を図るため、軽スポーツ、新スポーツの教室を開催した。</p> <p>主催講座数 延べ受講者数</p> <table border="1"> <tr> <td>北部公民館</td> <td>20講座</td> <td>1,161人</td> </tr> <tr> <td>中部公民館</td> <td>10講座</td> <td>1,077人</td> </tr> <tr> <td>南部公民館</td> <td>11講座</td> <td>790人</td> </tr> <tr> <td>生月町中央公民館</td> <td>6講座</td> <td>1,660人</td> </tr> <tr> <td>田平町中央公民館</td> <td>12講座</td> <td>1,657人</td> </tr> <tr> <td>大島村公民館</td> <td>2講座</td> <td>197人</td> </tr> </table> <p>②公民館大会開催事業 300千円</p> <p>これまで不安のない社会づくりの努力を積み重ね、多くの便利さと豊かさを手に入れたが、その結果、新たな不安が見えてきた。「ひと(HITO)響きあう宝島」実現のため、歴史の舵を今一度見つめ直す機会とし、平戸市公民館大会を開催した。</p> <p>開催日：平成24年2月19日(日)</p> <p>場 所：平戸市離島開発総合センター</p> <p>講 演：小関 哲 氏</p> <p>パネルフォーラム：町田 雅之 氏 他3名</p> <p>参加者：304名</p> <p>③北部公民館まつり開催事業 190千円</p> <p>地域住民の文化振興と生涯学習活動を推進するため、北部公民館に關係する団体が一堂に集まり、日頃の学習成果の発表や作品の展示を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,400人</td> <td>学習成果発表</td> <td>12団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>7団体</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>④越南まつり開催事業(中部公民館) 170千円</p> <p>学びあう仲間が集い、発表と交流により親睦を深め、活動のより一層の充実と生涯学習の推進及び明るく健康なひとづくり、まちづくりを進めるため越南まつりを開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,000人</td> <td>学習成果発表</td> <td>20団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>5団体、個人12人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤奥ひらど文化祭開催事業(南部公民館) 170千円</p> <p>日頃の学習成果を発表し、研鑽を深めるとともに仲間づくりや文化の向上を目的に、奥ひらど文化祭を開催した。</p> <p>参加者数 894人 学習成果発表 19団体 作品展示 17団体</p>	北部公民館	20講座	1,161人	中部公民館	10講座	1,077人	南部公民館	11講座	790人	生月町中央公民館	6講座	1,660人	田平町中央公民館	12講座	1,657人	大島村公民館	2講座	197人	参加者数	1,400人	学習成果発表	12団体	作品展示コーナー	7団体			参加者数	1,000人	学習成果発表	20団体	作品展示コーナー	5団体、個人12人			3,044
北部公民館	20講座	1,161人																																		
中部公民館	10講座	1,077人																																		
南部公民館	11講座	790人																																		
生月町中央公民館	6講座	1,660人																																		
田平町中央公民館	12講座	1,657人																																		
大島村公民館	2講座	197人																																		
参加者数	1,400人	学習成果発表	12団体																																	
作品展示コーナー	7団体																																			
参加者数	1,000人	学習成果発表	20団体																																	
作品展示コーナー	5団体、個人12人																																			

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			3,044	<p>①この事業を行ったことにより、市民の学習意欲の高揚と学習情報の発信ができた。また、時代に即応した講座を開催し、市民のニーズにあった学習機会を提供することで、生涯学習への意識が高揚した。</p> <p>②この事業が“ふるさと平戸”の宝を再度見つめなおす機会となり、今後も公民館を拠点として、豊かなまちづくりを展開していくうえでの大切なものを考えることができた大会となった。</p> <p>③この事業を行ったことにより、関係団体相互の親睦と連携が深まり、地区住民への文化振興と生涯学習の推進に貢献した。また、ふれあい広場では、もちつきや出店などを通して、参加者や地域住民相互の交流ができた。</p> <p>④地域住民の団体やサークルによる発表及び作品の展示を通して、公民館利用団体や地域住民との親睦が深まり、公民館活動の一層の充実が図られた。また、呈茶、実演・体験コーナー、バザーコーナー、ちゃんこコーナーなどを通して、地域住民の交流と世代間のふれあいの場を提供した。</p> <p>⑤学習グループや公民館関係団体の発表や作品展示を通して日頃から学んだ生涯学習の成果を発表し、グループ間の親睦交流や生涯学習の相互研鑽ができた。また、地域住民に対し、芸術文化に親しむ機会を提供した。</p>

事業名	事業内容	事業費
公民館施設整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 各公民館施設の整備を行った。  ふれあいセンター 中央監視装置取替ほか 田平町民センター 消防設備等改修事業ほか 生月町中央公民館 消防設備等改修事業ほか 南部公民館 展示パネル導入ほか	4,879
読書推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】	①子ども読書の週間記念事業（両館主催） 子ども読書週間の期間、おはなし会（紐差小、津吉小、永田記念図書館）を開催した。  ②図書館フェスティバル（両館主催） 子どもから大人までのイベントを開催し、読書活動推進を実施した。 開催日：平成 23 年 10 月 29 日（土） 場 所：平戸文化センター 参加者：600 名 ・絵本作家と布バックにおえかき（ワークショップ） ・講演会「図書館の可能性」鳥取県立図書館支援協力課長ほか ・アジアの国の文化体験（九州国立博物館ワークショップ） ・廃棄本の配布など  ③読書感想発表大会（両館主催） 本大会の開催に当り、多数の応募を得て子どもたちの読書活動への意欲を高めるとともに、図書館、学校や家庭における読書活動推進の活性化を図った。 開催日：平成 23 年 11 月 27 日（日） 場所：ふれあいセンター 参加者：200 名  ④絵本作家講演会（両館主催） 絵本作家 長谷川義史さんを講師に迎え、自作の本の読み聞かせや、本の創作時のエピソードなどの講演会を実施し、読書推進を図った。 開催日：平成 24 年 1 月 28 日（土） 場 所：北部公民館 大ホール 参加者：参加者：200 名  ⑤図書館モニターツアー 県内の先進的な図書館を市民と共に見学し、図書館運営の参考にした。 開催日：平成 24 年 3 月 18 日（日） 場 所：諫早市立たらみ図書館、佐々町立図書館 参加者：19 名	604

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,789			1,090	施設の改修整備の実施により、施設使用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られた。
		200	404	読書感想発表大会などの読書推進事業を開催し、児童生徒を中心に読書に親しむ機会を進め、親しみのある図書館づくりと図書館の利用の拡大が図られた。（出展数 感想文 319 点、感想画 1,061 点）また、図書館フェスティバル、図書館モニターツアー、絵本作家講演会など読書推進活動を行い、絵本の大切さ、読書の楽しみ方やその役割について、子どもから大人まで幅広く理解を深めることができた。また、定期的に読み聞かせやビデオ上映会を行い、図書館の利用促進、本にふれる機会を提供した。

事業名	事業内容	事業費
図書購入事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】	市内の図書館(室)に季節や話題の本など定期的に図書購入を行い、利用者サービスを行った。(一般書・児童書・雑誌等) ・平戸図書館 2,172 冊 ・永田記念図書館 1,808 冊 ・南部公民館図書室 447 冊 ・生月中央公民館図書室 603 冊 ・田平中央公民館図書室 481 冊 ・大島村公民館図書室 299 冊 合計 5,810 冊	8,524
生月図書室整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】 【事項別明細書 330 頁】	生月町中央公民館にある生月図書室を施設の老朽化ならびに庁舎の有効活用のため、生月支所1階に移転し、改修工事を行い、新しい書架等の整備を行った。 改修内容 ・カーペット張替え ・紫外線カットフィルム貼 ・多目的トイレと給湯室の入れ替え 備品購入 ・事務室用パーテーション ・書架一式 ・パソコン一式(事務用2台、閲覧用3台、プリンター1台) ・ブックポスト 図書購入 4,331 冊	33,081
社会教育施設整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 332 頁】 【事項別明細書 334 頁】	【平成22年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 各社会教育施設の整備を行った。 生月町開発総合センター 掃除機等導入 地域交流センター 消防設備等改修ほか 大島村離島開発総合センター 空調設備導入ほか ふれあい会館 消防設備等改修ほか	1,300
伝統的建造物群保存地区保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 334 頁】	平成23年度平戸市大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業は直接事業1棟、間接補助事業で町家4棟の保存修理を行った。(うち1棟は22年度から継続)	38,077
伝統的建造物群保存地区保存整備推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 334 頁】	保存計画に基づき大島村神浦伝統的建造物群としての町並み保存整備推進を行った。保存地区内の未調査建築物などの学術調査及び、痕跡調査を実施し継続的に町家の修理・修景を推進した。 修理希望調査の実施 対象 184 人 学術・痕跡調査 (5件)	601

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,500	30	994	図書館(室)の利用者層や地域性を重視し、季節や話題の本など毎月、一般書・児童書、雑誌、新聞など資料提供を行った。また、図書システムで資料を管理しているので、利用頻度に応じて、本の購入が可能のため、利用者の要望を重視した、サービス提供をした。
21,246		11,628	207	生月支所に移設し改修を行うことにより、以前の約 60 ㎡から 161 ㎡になり、明るく利用しやすい図書室に生まれ変わった。これにより、多くの来館者が見込まれ、読書への関心が高まり、貸出冊数の増加につながる。また、読み聞かせを行うスペースが出来たため、子どもたちが本に親しむ機会が増え、読書への習慣づけが将来にわたって大きな効果を生むことが期待される。
1,010			290	施設の改修整備の実施により、施設使用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られた。
25,694			12,383	町家の修理については20年度からこれまでに、12棟が完了。徐々にではあるが、町家の整備が進みつつある。 間接事業 20年度 1棟 21年度 4棟 22年度 4棟(うち、1棟は21年度継続事業) 23年度 4棟(うち、1棟は22年度継続事業) 直接事業 公開活用施設 1棟 (20、21年度外観修理、23年度内装修理)
			601	学術調査・痕跡調査により、調査未実施家屋の建築年代と当時の建築構造が解明された。 修理希望調査結果 24年度修理希望件数7件、25年度以降11件 学術調査結果 建築年代推定 大正期2棟 昭和期3棟

事業名	事業内容	事業費
指定文化財維持管理事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 334 頁】 【事項別明細書 336 頁】	指定文化財の保存のため管理・整備・改修など行った。 ・史跡維持管理事業 146 千円 ・保存整備補助事業(5 件) 207 千円 ・保存管理補助事業(5 件) 115 千円 ・ハクモクレン整備事業 840 千円 ・大島盆踊り開催委託 1,500 千円 ・平戸黒子島倒木除去作業委託 854 千円 ・無形民俗文化財団体運営費補助 530 千円 ・事務費 32 千円	4,224
埋蔵文化財発掘調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	各種開発及び範囲確認に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。また、里田原遺跡出土の木製品の保存処理を行った。 ・発掘調査事業 3,089 千円 (下大垣遺跡・堂の元遺跡・入口遺跡・梅崎遺跡・根獅子遺跡・日之嶽城跡・浦小川遺跡・亀岡城跡・丸尾山遺跡・堂山遺跡) ・出土遺物保存処理事業 693 千円 ・自然科学分析 217 千円	3,999
重要文化的景観保護事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	平成 22 年度、国の重要文化的景観に選定となった「平戸島の文化的景観」の適切な保存活用を図るため、調査研究、有識者による委員会の開催、整備活用計画の策定検討を行った。また、選定地区の便益施設整備として休憩所を 2 箇所設置した。 ・調査研究、委員会開催 4,431 千円 ・整備活用計画策定委託 6,167 千円 ・便益施設整備事業 2,875 千円 ・事務事業 103 千円	13,576
県指定文化財保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」の座敷の改修事業、県指定有形文化財「旧松浦家住宅」及び「雄香寺開山堂」の補修、同「紐差教会」の消防設備設置事業に対する補助を行った。 ・県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」 3,000 千円 ・県指定有形文化財「旧松浦家住宅」 776 千円 ・県指定有形文化財「雄香寺開山堂」 889 千円 ・県指定有形文化財「紐差教会」消防設備設置事 420 千円	5,085
和蘭商館関連施設発掘調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】 【事項別明細書 338 頁】	和蘭商館関連施設があったとされる、田平町横島で発掘調査を行い、リンパーンと呼ばれる航海用ロープ製作場のものと想定される柱穴痕や、壁基礎の遺構を検出した。 また、建築材と考えられる鉄釘も検出することが出来た。	3,201

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
420			3,804	指定文化財の維持・管理や修理、伝承や後継者育成等に助成を行うことにより、所有者や管理者・保存会の負担を軽減し、貴重な文化財の保存・保護・継承をうながし、指定文化財としてふさわしい体裁等の保全、伝承活動の活性化を図ることができた。
2,200			1,799	発掘調査により中世～近世にかけての遺物・遺構(丸尾山・堂山遺跡)を検出することができ、キリシタン集落の中で、近世史を検証する上で、新たな資料を追加することができた。平戸城の調査では富江橋付近の石垣が確認された。 里田原遺跡から出土していた、木製品を保存処理することにより、後世に伝えることができるようになった。
9,503			4,073	調査研究及び文化的景観推進委員会の実施により重要文化的景観の保護保存、活用方針を定める整備活用計画の骨子及び景観データベースの整理を行うことができた。また、便益施設整備として、春日、宝亀地区に休憩所を設置し、地元での効果的な利活用が図られている。
			5,085	益富家居宅跡の座敷や旧松浦家住宅の千歳閣・九阜斎・玄閣、雄香寺開山堂は雨漏、壁・柱材が傷んでいたが、文化財としての補修が行われた。また、紐差教会は未設置だった火災報知設備が整備された。それぞれ保存継承できるようになった。
1,760			1,441	国史跡に追加指定することにより遺跡を保存保護し、将来的に崎方町の主体部と併せて公開活用していくための基礎資料を得ることができた。

事業名	事業内容	事業費
和蘭商館復元整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】	史跡地内公有地について、砂岩貼りや土系舗装による整備を実施した。整備にあたっては、1637 年築造倉庫の遺構を玉石にて表示するなど、復元専門委員会周辺整備部会の指導の下、史跡地に相応しい整備を目指した。 また、史跡地内県道の歩道整備や 1639 年築造倉庫内の展示物設置工事を併せて実施した。	171,885
和蘭商館跡等史跡周辺環境整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 和蘭商館跡をはじめとする市内の史跡地周辺を、草刈や樹木の伐採により環境整備した。	5,281
和蘭商館資料等整理調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 臨時職員 2 名を雇用し、平戸オランダ商館に関する史資料の整理、調査、保存等を行った。	3,414
世界遺産登録推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」世界遺産登録を目指し、文化庁、県、関係市町との連絡調整を行うとともに、県学術会議など各種会議への出席、継続した調査研究など登録作業を推進した。また、県を主体とした周知啓発グッズ作成などの広報活動を行った。 ・世界遺産登録推進負担金 1,262 千円 ・世界遺産登録に係る調査事業 4,147 千円 (賃金含む) ・事務事業 5,016 千円 ( // )	10,425
世界遺産アクションプラン策定事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 338 頁】 【事項別明細書 340 頁】	世界遺産登録に必要な包括的保存管理計画及び県版アクションプラン(ともに県作成)の一部となる市アクションプランの策定を行った。 ・アクションプラン策定委託 4,095 千円 ・事務事業 1,905 千円	6,000
文化振興事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 340 頁】 【事項別明細書 342 頁】	市民の文化活動の振興を図るため、文化協会、保存会、全国・九州大会出場者への補助等を行った。市内の小・中・高校生・一般の参加による青少年音楽会、各地区文化協会と連携した文化まつり、市民公募作品による市美術展を開催した。 ・がわっぱ祭開催委託 150 千円 ・文化協会補助金 1,192 千円 ・未来創造文化振興事業補助金 361 千円 ・田平権現太鼓保存会補助金(用具修理等) 1,070 千円 ・事務事業 135 千円 ・青少年音楽会 175 千円 ・文化まつり 698 千円	3,781

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
44,382	94,700	26,136	6,667	史跡地内公有地を整備することにより、一般市民や観光客が和蘭商館跡に訪れるようになり、歴史を生かしたまちづくりに大きく寄与することができた。 また、史跡地内県道について、歩車道分離のための歩道整備を実施し、来場者の交通安全を図ることができた。
5,281				史跡地の周辺が整備されることにより、市民が郷土の歴史に触れる機会が増え、歴史を生かしたまちづくりの役割を担うことが出来た。 新規雇用失業者数 4 名
3,399		15		史資料の整理、出土品の実測・トレースなどを行い、開館後の展示、学術研究発表の基礎資料の充実を図ることができた。 新規雇用失業者数 5 名
		39	10,386	構成資産の調査研究結果を県世界遺産学術会議及び、国内外の有識者を招聘し行った国際会議(県開催)の場において示したことにより、推薦書(原案)提出のための資産価値の熟度を高めることができた。 また、各種イベント時における周知啓発グッズの配布により登録推進の広報ができた。
3,000			3,000	世界遺産登録作業の一つである市町世界遺産アクションプラン作成が完了し、関係市町とともに登録に向けた体制づくりを万全にすることができた。
		1,361	2,420	市民文化の振興を図るため、市民の積極的な参加と文化団体への助成をとおして文化活動の活性化と市民の積極的な参加を促し、潤いとゆとりをもたらす文化の振興に努めた。 また、青少年音楽会・文化まつり・市美術展を開催することにより、市民の芸術文化の向上、文化活動の大切さと地域への愛着を持つ人材の育成に努めた。 ・がわっぱ祭 参加者 200 人 ・全国高校ダンスドリル、全国少女女囲碁大会出場補助 ・青少年音楽会 入場者数 500 人 出演団体 9 団体 ・文化まつり(4会場)入場者数 3,423 人 ・市美術展(4会場) 入場者数 1,489 人 出品点数 710 点

事業名	事業内容	事業費
民俗芸能祭開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書342頁】	国指定重要無形民俗文化財「平戸神楽」、県指定無形民俗文化財「大島の須古踊」「田助ハイヤ節」、「宮の町獅子舞」、「堺目ヨホー太鼓」、佐賀県指定重要無形民俗文化財「音成の面浮立」の出演による民俗芸能祭を開催した。	1,198
平戸ジャンガラフェスティバル開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書342頁】	国指定無形民俗文化財「平戸のジャンガラ」9団体、県指定無形民俗文化財「大島のジャンガラ」1団体のジャンガラ保存会による一般公開を行った。	1,843
文化公演開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書342頁】	宝くじまちの音楽会【岩崎宏美 with 宗次郎〜心のふるさとを求めて〜】、次代を担う子どもの文化芸術体験事業【東京シティバレエ団】、平戸オランダ商館開館記念コンサート【OOMURA室内合奏団】、ながさき音楽祭2011【木管アンサンブル・ボエ】、海上自衛隊佐世保音楽隊コンサートを開催した。	2,420
平戸オランダ商館企画展開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書344頁】	平戸オランダ商館の開館に併せて記念企画展を開催した。また、開館前に、九州国立博物館にて商館開館記念と題した展示を開催し、開館の周知に努めた。 ・九博トピック展 平戸―海外に開かれた港市― 7/6～8/15 ・企画展1 平戸・オランダ―過去・現在・未来へ― 9/20～10/23 ・企画展2 つづられた商館の記憶 ―平戸と出島― 11/12～12/18	3,467
平戸オランダ商館開館記念事業 (文化遺産課) 【事項別明細書344頁】	長い検討の過程で、日本のみならずオランダ政府やオランダの建築士、歴史学、考古学等の専門家の協力を得て復元に至った平戸オランダ商館を、平戸の文化財のシンボル、また日蘭交流の新たなシンボルとして世界にアピールするために開館記念式典を9月17日に開催した。 開館記念式典、内覧会、仮装パレード、記念レセプション、記念セレモニー等を実施した。	13,201

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,198	広く市民に公開することにより、地域の優れた伝統文化を再認識する機会を提供することができた。また、各保存会間の交流を促すことにより、民俗芸能の保存・伝承活動における意見交換を図ることができた。 ・出演団体 6団体 出演者数 131人 ・入場者 522人
			1,843	「ジャンガラの地区ごとに衣装・道具・芸態の違いを始めて見ることが出来た」、「平戸に住んで50年以上経過するが、平戸地区以外のジャンガラを知らなかった」など、市民を中心に多くの意見が寄せられ、ジャンガラの周知並びに保存・継承への理解と認識を深めることができた。 ・観覧者数 500人
		1,091	1,329	各種コンサートを開催することにより、本物の芸術に触れる機会を提供することができた。 ・宝くじまちの音楽会 1,400人 ・次代を担う子どもの文化芸術体験事業 300人 ・平戸オランダ商館開館記念コンサート 130人 ・ながさき音楽祭2011 183人 ・海上自衛隊佐世保音楽隊コンサート 1,500人
			3,467	開館記念の企画展の開催により、集客の向上を図るとともに、商館の持つ歴史上の特色を広く紹介することができた。また、九州国立博物館の協力で、常設展示において平戸オランダ商館開館記念の展示を開催し、九博の来館者に対して広く商館の開館をPRすることができた。
3,343			9,858	秋篠宮同妃両殿下のお成りをはじめ、駐日オランダ王国特命全権大使や長崎県知事など多数にご来場いただくことができ、連休を利用した「オランダWEEK」と併せて、国際観光都市平戸を内外に広くアピールすることが出来た。 また、「記念レセプション」において、市民提案事業にて考案された「オランダレシビ」を中心とした料理を提供するなど、行政と市民が一体となって事業を展開することが出来た。

事業名	事業内容	事業費
平戸オランダ商館 プロモーション事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 344 頁】	新聞や、テレビ、ラジオに広告を掲出したり、旅行エージェントへのセールスや旅行商品の造成等を行なうことにより、オランダ商館への来館者数が増加するよう事業を展開し、多くの来館者を得ることができた。	12,643
平戸オランダ商館 シャトルバス運行 事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 346 頁】	平戸オランダ商館への来館者の駐車場が不足することから、来館者に文化センター駐車場や市役所駐車場等も利用してもらうこととし、移動のためにシャトルバスを運行した。 【コース】 文化センター → レストハウス → 市役所第 2 駐車場 → 市役所駐車場 → 交流広場 土日祝限定で無料	1,393
平戸オランダ商館 交通誘導整理事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 346 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 平戸オランダ商館の開館に合わせて、平戸港交流広場からオランダ商館周辺に交通誘導整理員を配置し、来館者の安全確保に努めた。	16,771
文化施設整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 348 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 田助ハヤ節伝承館の雨水排水工事、島の館の空調機器及び浄化槽の部品修繕、里田原歴史民俗資料館の銅板屋根改修工事、同浄化槽上部舗装改修・空調機器修繕等を行った。 ・田助ハヤ節伝承館の雨水排水工事 483 千円 ・島の館空調機器部品交換修繕 126 千円 ・島の館浄化槽部品修繕 130 千円 ・里田原資料館銅板屋根改修工事 8,889 千円 ・里田原資料館浄化槽上部舗装改修 199 千円 ・里田原資料館空調機器修繕 117 千円	9,944
市民体育祭開催 事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】	市民各層のスポーツ振興、普及発展及び競技力の向上を図り、併せて市民の健康と体力の保持増進を目指し市民体育祭を開催した。 競技部大会 (開催日) 9月4日～11月6日 (競技数) 19 競技 (参加者) 2,258 人 健康まつり (開催日) 10月9日 (開催地区) 3 地区(北部、中部、南部) (参加者数) 1,376 人 村民運動会 (開催日) 10月9日 (開催地区) 大島地区 (参加者数) 500 人	1,258

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			12,643	平戸オランダ商館の開館に併せて、各種プロモーションを実施することにより、平戸オランダ商館を全国にアピールすることが出来、多くの来館者を得ることができた。 平成 23 年度来館者目標数 64,000 人 〃 実績数 68,388 人
			1,393	開館当初は一定の利用があり、来館者の利便性を図ることができたが、平成 24 年に至ってからは空席が目立つようになり、利用者が減ったため、3月までで運行を中止することとした。
16,771				平日 5 名、土日祝日 9 名の体制で交通誘導整理員を配置し、来館者の安全確保と、商館への誘導など利便性の向上を図ることができた。併せて、緊急雇用により雇用の創出につながった。 新規雇用失業者数 18 名
7,722			2,222	田助ハヤ節伝承館では雨水排水工事により、隣接の田助小グラウンドのコンディションがよくなった。 島の館の空調や浄化槽の修繕ができ、来館者のアメニティーが確保された。 里田原歴史民俗資料館は銅板屋根改修工事により、雨漏りが止まり、外観を整えることができた。また、浄化槽上部の舗装や空調の修繕等、施設の整備ができた。
			1,258	体育協会加盟団体による競技部大会は、その競技力向上と県民体育大会出場選手等の選考も兼ねて開催した。 市内 4 地区で開催した「健康まつり」や「村民運動会」により、市民の融和と健康増進、生涯スポーツの推進に寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
少年自然体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】	半元キャンプ場において、自然観察・シーカヤック・キャンプファイヤーや漁師体験などの野外体験キャンプを行った。 開催日：7月21日(木)～22日(金) 場 所：半元キャンプ場 参加者：38名	90
サバイバル体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】	平戸市野子町高島において、市内小学校4年生～6年生を対象に2泊3日の野外体験学習を行った。 開催日：1回目 8月1日(月)～3日(水) 2回目 8月10日(水)～12日(金) 場 所：旧野子小中学校高島分校 参加者：44名	535
スポーツ振興事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】 【事項別明細書 350 頁】	①平戸ソーダウォーク大会開催補助金 3,200千円 開催日：9月24日～9月25日 開催地区：生月地区(1日目)、平戸・田平地区(2日目) 参加者数：レギュラーコース 延べ2,698人 エコウォークコース延べ 80人  ②社会体育振興事業補助金 3,926千円 地域スポーツの振興を図るために、生涯スポーツ団体等に補助を行った。 体育振興会 6団体 3,926千円  ③スポーツ振興事業補助金 3,224千円 市民自らが健康で活力ある生活を目指して、スポーツの振興と競技力の向上を図るため、関係団体及び事業に対して補助を行った。 競技大会参加(九州大会等への参加) 16件 1,434千円 市長特認事業 1件 250千円 県民体育大会参加事業 2件 1,540千円  ④スポーツ少年団活動事業補助金 725千円 少年スポーツの振興を通して、青少年の健全育成に資する活動に補助を行った。 団体育成事業 35件 635千円 スポーツ交流事業 3件 90千円  ⑤体育協会補助金 1,300千円 本市における社会体育の普及・振興及び競技力向上を図るため、体育協会に対して助成した。 競技部強化費 19団体	16,959

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			90	自然の中での生物学習、野外炊飯などのキャンプ活動を体験し、自然と接することやリーダーシップなど団体行動での必要な知識を体験させることができた。また、シーカヤックやタベのつどいを通して地域間の子どもの交流ができた。2日目の漁師体験では、定置網漁を体験することで、ふるさと平戸の漁業について学ぶことができた。
			535	離島という隔離した環境の中、市内から集まった子どもたちが共同生活により野外体験学習を行うことで、たくましい身体と精神の育成を図ることができた。
		5,528	11,431	① 市民を中心に誰でも気軽に参加できる歩くイベントを行い、健康増進と交流の場を提供し、地域の活性化を図ることができた。また、このイベントは市外に平戸市の魅力をアピールする絶好の機会であり、更なる地域発展につなげることができた。 ② 各地区の体育振興会及び団体による社会体育事業を通して、健康で活力ある地域づくりを図ることができた。 ③ 県代表として九州大会以上の大会に参加する競技団体等に対して、補助することにより、その競技力の向上とともに、市民スポーツ普及へつなげることができた。 有名選手の招聘やスポーツ教室の開催により、スポーツの振興と技術力の向上を図ることができた。 ④ 少年スポーツの競技力向上を目的に指導者に対し、正しい知識と技能を修得してもらうための研修会を行い、指導者が研修会に参加した団体に対し活動費を助成し、本市のスポーツの底辺拡大を図ることができた。 ⑤ 体育協会に活動補助を行い、各種団体の競技力の向上を図ることができた。 (県民体育大会成績) 優 勝：[団体]相撲(成年男) [個人]相撲(成年)、 [個人]水泳50M バタフライ(50歳以上男) 準優勝：[団体]サッカー(40歳以上) [団体]軟式野球(成年) [個人]空手(一般男子) [個人]相撲(成年) [個人]水泳(一般男子)

事業名	事業内容	事業費
スポーツ振興事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 348 頁】 【事項別明細書 350 頁】	⑥平戸縦断駅伝大会開催事業 350 千円 第 42 回大会を開催するにあたり、体育協会に委託を行った。 開催日：1 月 15 日 (日) コース：宮の浦～平戸文化センター 42.1Km 7 区間 参加数：一般(フリー)の部 8 チーム 一般(市内)の部 8 チーム 高校の部 8 チーム  ⑦県下一周駅伝大会参加補助金 230 千円 県下 42 区間を 3 日間で競う駅伝大会に、市陸上競技協会を中心とした平戸チームに助成を行った。	
第 69 回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 350 頁】	【総会・委員会等】 平成 23 年 7 月 20 日：平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会 平成 24 年 2 月 10 日：第 1 回常任委員会 平成 24 年 2 月：各 4 専門委員会 【先催地の視察・調査】 平成 23 年 8 月 20～21 日：岐阜県郡上市 第 50 回全国教職員相撲選手権大会(兼第 67 回国民体育大会リハ大会) 平成 23 年 10 月 1～10 日：山口県山口市ほか 第 66 回国民体育大会(相撲、軟式野球競技) その他、第 66 回国民体育大会事後調査説明会、第 51 回全国教職員相撲選手権大会三者連絡調整会議 【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、市内イベントでのティッシュ配布等	974
第 69 回国民体育大会開催準備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 350 頁】 【事項別明細書 352 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 【総会・委員会等】 平成 23 年 7 月 20 日：平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会 平成 24 年 2 月 10 日：第 1 回常任委員会 平成 24 年 2 月：4 専門委員会 【先催地の調査】 第 66 回国民体育大会事後調査説明会(相撲競技) 【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、市内イベントでのティッシュ配布等	4,118

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
				3 位：[団体]サッカー(一般男子) [団体]バレーボール(一般女子) [個人]陸上(一般男子) [個人]水泳 50M 自由形(40 歳以上男子) 200M 個人メドレー(一般男子) [個人]相撲(成年) [個人]グラウンド・ゴルフ(一般男子)  ⑥ 駅伝大会を開催したことにより、駅伝競技の普及と競技力向上、底辺拡大を図ることができた。 優勝：一般(フリー)の部：陸自大村 4 施大 一般(市内)の部：田平玄海クラブ 高校の部：松浦高校 A  ⑦ 助成をしたことにより、平戸チームの経済的負担が軽減されるとともに、レースに専念することができた。 大会結果：総合 10 位(全 11 チーム中)
			974	平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会、第 1 回常任委員会及び 4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査(岐阜・山口)を行うことにより具体的な内容の把握が出来、今後の業務遂行に大いに参考となった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、イベントでのティッシュ配布により啓発活動に努めた。また、関係機関団体等との連絡調整を図り円滑な大会運営を期するため準備を行った。
4,105		13		平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会、第 1 回常任委員会及び 4 専門委員会を開催した。先催地の事後調査(山口県)を行うことにより具体的な内容の把握が出来、今後の業務遂行に大いに参考となった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、イベントでのティッシュ配布により啓発活動に努めた。また、関係機関団体等との連絡調整を図り円滑な大会運営を期するため準備を行った。併せて緊急雇用により雇用の創出に繋がった。  新規雇用失業者数 4 名

事業名	事業内容	事業費
全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 352 頁】	【総会・委員会等】 平成 23 年 7 月 20 日：平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会 平成 24 年 2 月：4 専門委員会 【先催地の視察・調査】 北東北総体相撲競技(抽選会) 平成 23 年 7 月 6 日 北東北総体相撲競技 平成 23 年 7 月 29～31 日：青森県弘前市 【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、ポスター募集 【連絡調整会議等】 長崎県相撲連盟・平戸市相撲連盟との協議、高校生放送部の視察研修	1,299
全国高等学校総合体育大会相撲競技選手強化育成事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 352 頁】	本市高校相撲部の選手強化のため、遠征合宿・交流合宿等に係る費用の補助を行った。	500
体育施設整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 352 頁】	生月町勤労者体育センター整備事業 生月町勤労者体育センター(野球場)の改修を行った。 ・舗装工事(内野・外野芝生張替え) ・ウォーニングゾーン舗装 ・水道工事ほか	67,181
	赤坂野球場整備事業 赤坂野球場の改修を行った。 ・舗装工事(外野芝生張替え) ・ウォーニングゾーン舗装ほか	53,299
【事項別明細書 356 頁】	社会体育施設整備事業 【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 各社会体育施設の整備を行った。 総合運動公園 スポーツトラクター整備ほか 生月町勤労者体育センター 刈払機導入 B&G 海洋センター ドア改修ほか 田平町武道館 玄関ドア取替 南部市民屋内運動場 フットサルゴール等購入ほか	25,616

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,299	平戸市実行委員会設立総会・第 1 回総会及び 4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査(青森県弘前市)を行うことにより具体的な施設面・競技運営面等、今後の業務遂行に参考となるものであった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、また、ポスター募集を行い啓発活動に努めた。関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の視察研修を行い大会開催へ万全を期すため準備を行った。
		500		遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手強化(技術力の向上)が図られた。
2,181	41,000	24,000		平成 26 年度開催の第 69 回国民体育大会軟式野球競技を実施するために施設改修整備等を行った。 また、その他の施設についても施設改修や備品整備を行い、スポーツの振興及び利用者の利便性及び安全性を確保し、地域スポーツの振興が図られた。
851	27,800	24,000	648	
10,611			15,005	

事業名	事業内容	事業費
給食共同調理場 設備整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 356 頁】	安全安心な給食を提供するため、老朽化した設備機器及び調理用機械器具の更新を行った。	6,977
学校給食設備整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 358 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 安全安心な給食を提供するため、老朽化した設備機器及び調理用機械器具の更新と新規導入を行った。	29,673

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			6,977	この事業を行ったことで、作業の効率化と衛生面が大幅に改善し、児童生徒等に安全安心でおいしい給食の提供を図ることができた。
23,046			6,627	この事業を行ったことで、安心で安定した業務遂行ができるようになったほか、高機能な調理機器により献立の充実を図ることができた。